

# 顧客と共に「AI-X」実現

## 保険業界のイノベーションを支援

(株)Laboro. AI

近年、保険業界ではAIをさまざまな領域で活用する動きが始まっているが、(株)Laboro. AI (東京都中央区)は、そうした保険業界の取り組みをサポートしている。2016年にAIベンチャー企業として創業し、社員は現在20人だが、すでにさまざまな業界でAI開発・導入を支援しており、保険業界でも査定プロセスの自動化、コールセンターの音声認識、介護ケアプランの作成などイノベーション創出をサポートしている。「エンジニア側とビジネス側をしっかりとつなぐことを通じて、顧客企業のAI-X (AIトランスフォーメーション)の実現を支援している」と話す椎橋徹夫代表取締役CEOに、同社事業の特色やポイント、今後の保険業界でのAI活用について聞いた。



椎橋代表

——会社の事業内容にアな部分にAIを取り入れることでイノベーションを起こすことであり、それがその産業全体にも広がっていくかと思つて

椎橋 われわれは、機械学習やディープラーニングの技術領域にフォーカスしているAIベンチャー企業で、主に顧客企業それぞれの状況や要望に合わせてAIを使ったソリューションをオーダーメイド開発するサービス「カストムAI」を提供している。

最近よく、デジタルトランスフォーメーション(DX)と言われていて、その中でも特にAIを使って企業のトランスフォーメーションを支援するのが当社の役割だと思つており、われわれはそれを「AI-X (AIトランスフォーメーション)」と呼んで、企業のパートナーとして一緒に取組みを進めて

客企業にコンサルティングしながら、具体的に開発するソリューションを設計するソリューションデザイナーは、セールスを担当するとともにAI技術も深く理解している。場合によっては自分で論文も読んで、プログラムにも触れることができるから、適切なソリューションを提案が可能になる。反対にエン

界で得たヒントが別の業界のプロジェクで生かされることも多い。

一方、当社はAIの技術領域でも幅広く展開しており、OCRなどの画像認識や音声認識、自然言語処理、また、例えば、自動車保険のテレマティクスなどで活用されるセンサーデータなどさまざまな技術領域でソリューションを提供している。

——事業展開上の特色は、

椎橋 テクノロジーとビジネスをつなぐ能力を磨くことに事業の軸を置

いていることから、特に業界を問わずにビジネスを進めることができる。

例えば、保険業界には保険会社へのソリューションの提供に特化したインシユアテック企業などがあるが、当社が目指していることを突き詰める

と、AIを使ってビジネスをどうトランスフォーメーションしていくかということであり、その本質はどの業種でもそれほど変わらないので、あえて幅広い業界でビジネスを展開している。むしろ、ある業

界で得たヒントが別の業界のプロジェクで生かされることも多い。

一方、当社はAIの技術領域でも幅広く展開しており、OCRなどの画像認識や音声認識、自然言語処理、また、例えば、自動車保険のテレマティクスなどで活用されるセンサーデータなどさまざまな技術領域でソリューションを提供している。

——事業展開上の特色は、

椎橋 テクノロジーとビジネスをつなぐ能力を磨くことに事業の軸を置

いていることから、特に業界を問わずにビジネスを進めることができる。

例えば、保険業界には保険会社へのソリューションの提供に特化したインシユアテック企業などがあるが、当社が目指していることを突き詰める

と、AIを使ってビジネスをどうトランスフォーメーションしていくかということであり、その本質はどの業種でもそれほど変わらないので、あえて幅広い業界でビジネスを展開している。むしろ、ある業

界で得たヒントが別の業界のプロジェクで生かされることも多い。

一方、当社はAIの技術領域でも幅広く展開しており、OCRなどの画像認識や音声認識、自然言語処理、また、例えば、自動車保険のテレマティクスなどで活用されるセンサーデータなどさまざまな技術領域でソリューションを提供している。

——事業展開上の特色は、

椎橋 テクノロジーとビジネスをつなぐ能力を磨くことに事業の軸を置

いていることから、特に業界を問わずにビジネスを進めることができる。

例えば、保険業界には保険会社へのソリューションの提供に特化したインシユアテック企業などがあるが、当社が目指していることを突き詰める

と、AIを使ってビジネスをどうトランスフォーメーションしていくかということであり、その本質はどの業種でもそれほど変わらないので、あえて幅広い業界でビジネスを展開している。むしろ、ある業

界で得たヒントが別の業界のプロジェクで生かされることも多い。

一方、当社はAIの技術領域でも幅広く展開しており、OCRなどの画像認識や音声認識、自然言語処理、また、例えば、自動車保険のテレマティクスなどで活用されるセンサーデータなどさまざまな技術領域でソリューションを提供している。

——事業展開上の特色は、

椎橋 テクノロジーとビジネスをつなぐ能力を磨くことに事業の軸を置

いていることから、特に業界を問わずにビジネスを進めることができる。

例えば、保険業界には保険会社へのソリューションの提供に特化したインシユアテック企業などがあるが、当社が目指していることを突き詰める

と、AIを使ってビジネスをどうトランスフォーメーションしていくかということであり、その本質はどの業種でもそれほど変わらないので、あえて幅広い業界でビジネスを展開している。むしろ、ある業

界で得たヒントが別の業界のプロジェクで生かされることも多い。

一方、当社はAIの技術領域でも幅広く展開しており、OCRなどの画像認識や音声認識、自然言語処理、また、例えば、自動車保険のテレマティクスなどで活用されるセンサーデータなどさまざまな技術領域でソリューションを提供している。

## 技術とビジネスつなぐことに注力

——事業展開上の特色は、

椎橋 テクノロジーとビジネスをつなぐ能力を磨くことに事業の軸を置

いていることから、特に業界を問わずにビジネスを進めることができる。

例えば、保険業界には保険会社へのソリューションの提供に特化したインシユアテック企業などがあるが、当社が目指していることを突き詰める

と、AIを使ってビジネスをどうトランスフォーメーションしていくかということであり、その本質はどの業種でもそれほど変わらないので、あえて幅広い業界でビジネスを展開している。むしろ、ある業

界で得たヒントが別の業界のプロジェクで生かされることも多い。

一方、当社はAIの技術領域でも幅広く展開しており、OCRなどの画像認識や音声認識、自然言語処理、また、例えば、自動車保険のテレマティクスなどで活用されるセンサーデータなどさまざまな技術領域でソリューションを提供している。

——事業展開上の特色は、

椎橋 テクノロジーとビジネスをつなぐ能力を磨くことに事業の軸を置

いていることから、特に業界を問わずにビジネスを進めることができる。

例えば、保険業界には保険会社へのソリューションの提供に特化したインシユアテック企業などがあるが、当社が目指していることを突き詰める

と、AIを使ってビジネスをどうトランスフォーメーションしていくかということであり、その本質はどの業種でもそれほど変わらないので、あえて幅広い業界でビジネスを展開している。むしろ、ある業

界で得たヒントが別の業界のプロジェクで生かされることも多い。

一方、当社はAIの技術領域でも幅広く展開しており、OCRなどの画像認識や音声認識、自然言語処理、また、例えば、自動車保険のテレマティクスなどで活用されるセンサーデータなどさまざまな技術領域でソリューションを提供している。

——事業展開上の特色は、

椎橋 テクノロジーとビジネスをつなぐ能力を磨くことに事業の軸を置

いていることから、特に業界を問わずにビジネスを進めることができる。

り、逆にそれさえできれば、現在のような事業展開が可能になる。AIの企業だと、大型調達して1年間に数十人、数百人規模の社員を採用して拡大している会社があるが、当社はそうした路線ではなく、採用を厳選してOJTでしっかりとプロフェッショナルを育成しながらイノベーションを高められるスピードで組織を拡大している。例えるなら、コンサルディングファームやローファームなどで行われている徒弟制のような人材育成に近い、経験あるメンバーと一緒に仕事をしながら指導し、AIとビジネスをつなぐという当社の領域を扱うのは容易ではないが、さまざまな技術を統合することで初めて最適なソリューションの提供が可能になる。——社内での人材育成について。

椎橋 当社は、各業界の企業と連携する際に、その業界がAIによって中長期的にどのような変化していくかを予測している。保険業界について、すでに顕在化している事実と共に、AIで原理的に可能なことに基ついて、今後起こるであろうことを考えていく。いくつかの段階に分かれた発展があると思

ている。進行中であるレベルでは、現行のビジネスモデルやオペレーションをそれほど変えずに、人が行っていることをAIで代替して効率化を図っていく。例えば、AIの画像認識技術による診断書のデータ化、セールの省力化や支援などがこれに該当する。

現在、始まりつつあるレベル2は、既存のビジネスモデルや商品・サービスを変えずにそのスペックを高めていくことだと思つている。一例を挙げると、生命保険の診断でリスク判断の精度を向上させることなどが当てはまると考えている。リスク算定に使うデータを増やして、そのデータ解析にAIを活用すればビジネスのパフォーマンスを大きく上げることができると。また、レベル3では、顧客のリスク自体を直接下げたいサービスでのAI活用が進むだろうと考えている。現在販売されているような健康増進保険やテレマティクス自動車保険に、より多様で大量のデータを活用してそれをAIが解析することで、よりリスク精度の高い商品の開発が可能になると考えている。

最後のレベル4は、現時点でまだ存在していないが、AIによってパーソナライズされた全く新しい保険商品やサービスが将来的に導入されると

考えている。例えば、個々の人は日々の暮らしの中でリスクとなるポイントがそれぞれ異なると思われが、その人に特定の病気や事故のリスクだけピンポイントでカバーする商品が生まれるのではないだろうか。あるいは、人の一日の行動に合わせて保険料が変化する保険商品の開発も期待され、それを支えるのが将来の予測をより精密なレベルでできるAIの技術だと思つている。現在、事例が出てきているレベル1や2の中でもまだAIが活用できる分野はたくさんあると考えており、レベル3や4の技術が実用化されていくとインパクトは非常に大きくなると考えている。

考えてみると、そうした予測力を向上させることがビジネスの発展にダイレクトに反映される産業はいくつかあるが、保険業界はその一つであり、保険業界はAIというテクノロジーを活用しやすい業界だと思つている。その考えをさらに進めていくと、これまでの保険業界はリスクサイド

で対応するビジネス、つまり「何か起こったときにはカバーします」というビジネスモデルだったが、将来的にはチャンスに働き掛けるビジネス、つまり「ここには機会があるからビジネスを進めべきだ」と提案するよう予測精度の高い情報を売るビジネスモデルも考えられるのではないかと思つている。

——保険業界との今後の関わり方について。

椎橋 前述のように、保険とAIは将来予測を通して非常に相性が良いと思つている。一方で、保険業界はAIの取り組みに積極的だが、現在は予測の領域ではなく、効率化や省力化を目的とする導入がほとんどと思つている。当社としては、保険会社が「リスクの見極め」という事業の根幹に対してAIを導入して、全く新しい保険商品やサービスを開発・提供していくといったトランスフォーメーションの実現を一緒に支えていきたいと思つている。

——事業展開上の特色は、

椎橋 テクノロジーとビジネスをつなぐ能力を磨くことに事業の軸を置

いていることから、特に業界を問わずにビジネスを進めることができる。

例えば、保険業界には保険会社へのソリューションの提供に特化したインシユアテック企業などがあるが、当社が目指していることを突き詰める

と、AIを使ってビジネスをどうトランスフォーメーションしていくかということであり、その本質はどの業種でもそれほど変わらないので、あえて幅広い業界でビジネスを展開している。むしろ、ある業

界で得たヒントが別の業界のプロジェクで生かされることも多い。

一方、当社はAIの技術領域でも幅広く展開しており、OCRなどの画像認識や音声認識、自然言語処理、また、例えば、自動車保険のテレマティクスなどで活用されるセンサーデータなどさまざまな技術領域でソリューションを提供している。

——事業展開上の特色は、

椎橋 テクノロジーとビジネスをつなぐ能力を磨くことに事業の軸を置

いていることから、特に業界を問わずにビジネスを進めることができる。

例えば、保険業界には保険会社へのソリューションの提供に特化したインシユアテック企業などがあるが、当社が目指していることを突き詰める

と、AIを使ってビジネスをどうトランスフォーメーションしていくかということであり、その本質はどの業種でもそれほど変わらないので、あえて幅広い業界でビジネスを展開している。むしろ、ある業

界で得たヒントが別の業界のプロジェクで生かされることも多い。

一方、当社はAIの技術領域でも幅広く展開しており、OCRなどの画像認識や音声認識、自然言語処理、また、例えば、自動車保険のテレマティクスなどで活用されるセンサーデータなどさまざまな技術領域でソリューションを提供している。

——事業展開上の特色は、

椎橋 テクノロジーとビジネスをつなぐ能力を磨くことに事業の軸を置

いていることから、特に業界を問わずにビジネスを進めることができる。